

多目的体育館 建設に着手しました

施設概要

建築面積	3,757.44 m ² (64m×51m)
延床面積	5,629.65 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)
諸室詳細	
メインフロア	バスケットボール2面 (49m×38m)
多目的ルーム	可動式間仕切壁、壁面鏡張
研修・会議室	可動式間仕切壁 (防音・防振)
トレーニングルーム	トレーニングマシン
キッズルーム	授乳室、キッズトイレ、遊具
更衣室	シャワールーム完備
防災施設	備蓄庫、放射線防護設備
観覧席	約530席 (2階常設)
駐車場/駐輪場	約80台/約30台

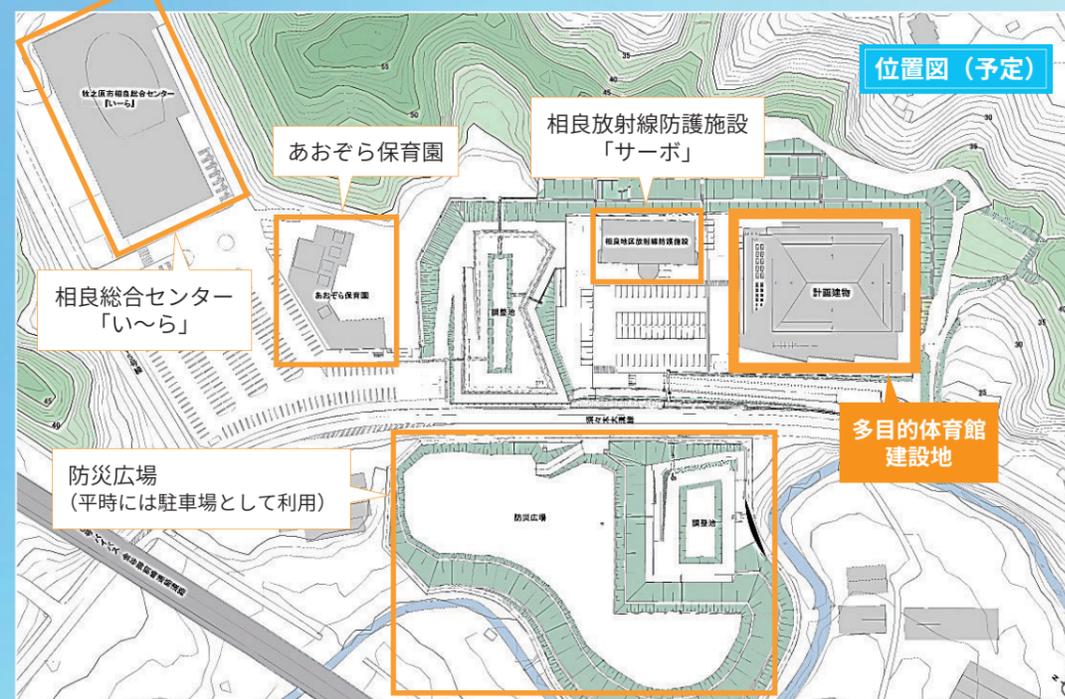
*隣接駐車場=防災広場 (約200台予定)、い〜ら (約200台)



メインフロア



エントランス

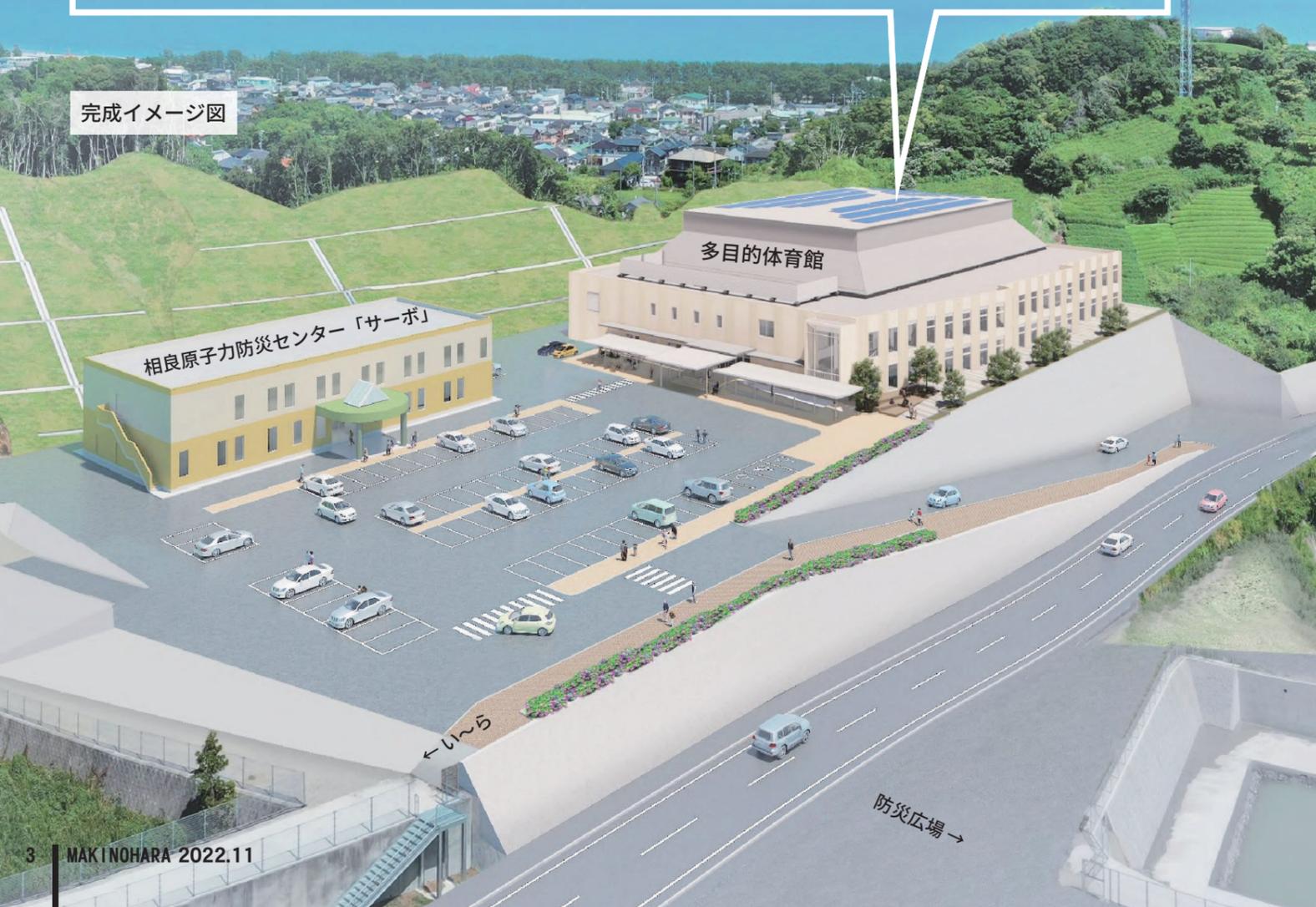


位置図 (予定)

脱炭素に向けた取り組み

市では、令和3年1月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素に向けた取り組みを行っています。この体育館は、市内公共施設の脱炭素化に先駆け、通常の同種建物と比べて高効率な省エネ設備などを導入し、消費エネルギーの削減を実現した建物とすることで、通称「ZEB」(ゼブ)と呼ばれる制度の認証取得を目指しています。これにより、環境に配慮した快適な利用空間の実現に取り組みます。

完成イメージ図



整備基本コンセプト 「スポーツで健康なまちづくり」

- 1. 健康づくりのための体育館**
多様なニーズに対応し楽しめる施設
- 2. 生涯スポーツの推進が図れる体育館**
障がいの有無、性別、年代を超えたスポーツを実現
- 3. 市民が集う体育館**
スポーツをするだけでなく、憩い安らげる愛される施設
- 4. 安心・安全な体育館**
災害時にも安心して避難できる施設

安全祈願祭を開催しました

体育館建設に伴い、9月28日に安全祈願祭を執り行いました。式典では、杉本市長によるくわ入れのほか、宮司による祈祷などが行われ、関係者とともに体育館の無事完成を祈りました。



市長あいさつ



市長によるくわ入れ

市では、平時には市民のスポーツ施設として利用でき、原子力災害時には要配慮者を受け入れる「放射線防護施設」としての機能を併せ持つ「多目的体育館」の整備を進めています。このたび、詳細設計が完了し、いよいよ建設に着手しました。お問い合わせ スポーツ推進課 政野隆輔 ☎(53) 2643